

景気動向指数
平成 23 年 5 月分（速報）の概要

5月のC I（速報値・平成17年=100）は、先行指数：99.8、一致指数：106.0、遅行指数：91.5となった。（注）

先行指数は、前月と比較して3.6ポイント上昇し、3ヶ月振りの上昇となった。3ヶ月後方移動平均は1.17ポイント下降し、3ヶ月連続の下降、7ヶ月後方移動平均は0.40ポイント上昇し、2ヶ月振りの上昇となった。

一致指数は、前月と比較して2.4ポイント上昇し、2ヶ月連続の上昇となった。3ヶ月後方移動平均は0.17ポイント下降し、3ヶ月連続の下降、7ヶ月後方移動平均は0.66ポイント上昇し、22ヶ月連続の上昇となった。

遅行指数は、前月と比較して0.7ポイント上昇し、2ヶ月連続の上昇となった。3ヶ月後方移動平均は0.43ポイント上昇し、4ヶ月連続の上昇、7ヶ月後方移動平均は0.39ポイント上昇し、17ヶ月連続の上昇となった。

一致指数の基調判断

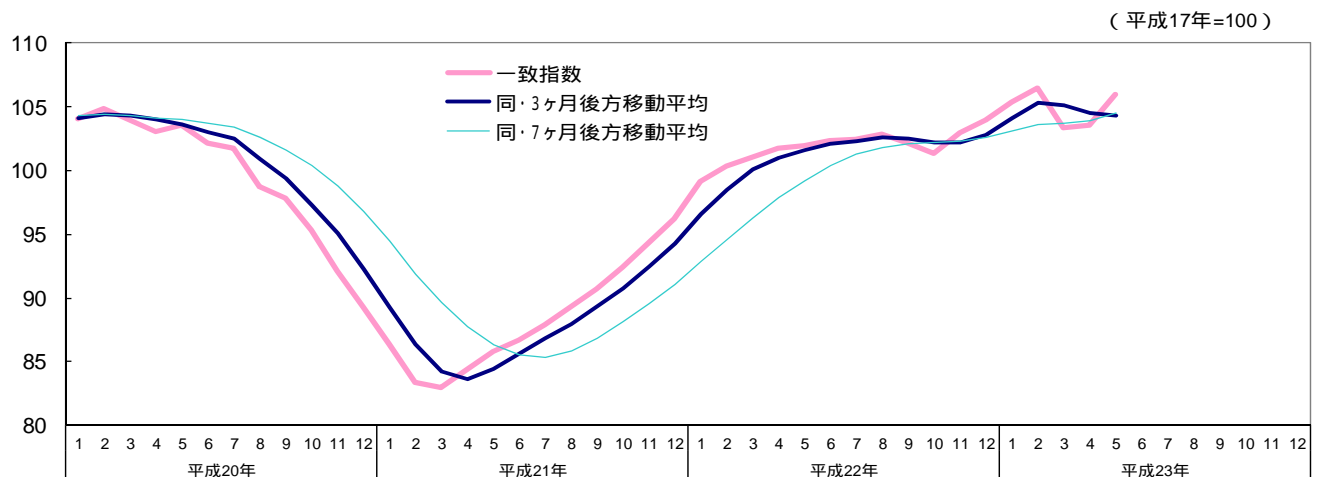
景気動向指数（C I一致指数）は、改善を示している。ただし、東日本大震災の影響により、C I一致指数の3ヶ月後方移動平均の前月差がマイナスとなっている。

一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度は以下の通り。

寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
C6：投資財出荷指数(除輸送機械)	0.48		
C1：生産指数(鉱工業)	0.47		
C3：大口電力使用量	0.44		
C7：商業販売額(小売業)(前年同月比)	0.36		
C8：商業販売額(卸売業)(前年同月比)	0.28		
C10：中小企業売上高(製造業)	0.15		
C2：鉱工業生産財出荷指数	0.08		
C11：有効求人倍率(除学卒)	0.08		
C9：営業利益(全産業)	0.02		
C5：所定外労働時間指数(製造業)	0.01		
C4：稼働率指数(製造業)	0.00		

「C4 稼働率指数」、「C5 所定外労働時間指数」、「C9 営業利益」は現時点では算出に含まれていないため、トレンド成分を通じた寄与のみとなる。なお、各個別系列のウェイトは均等である。

一致指数の推移



（注）現時点で得られる値のみで求めた。